

最低10人を選び感想を書く作業が 視野を広げ適性を考える契機に

熊本・私立 尚絅高校

尚絅高校は熊本市内にある私立の女子校。創立1888年と、伝統校で、上に尚絅大学と同短期大学部がある。1学年から、中高貫コース(附属中学出身者が対象)、特進コース、総合コースの3コースに分かれる。

将来の進路を安易に決めず一度、よく考える機会を

尚絅大学短期大学部には食物栄養学科や幼稚園教育学科などがあり、例年、「短大に進み、幼稚園の先生を目指したい」という理由で入学てくる生徒が少なくない。昨年度まで進路指導主任を務め、現在は中高貫コース担任の重信弘子先生は言つ。

「生徒に志望理由を聞くと『自分の幼稚園の先生が優しかったから』などと答えが多く、幼稚園教諭はどんな職業か、自分には資質があるが、もっと自分によさが發揮できる仕事はないか、などについてはあまり考えていないようでした。少ない選択肢の中から安易に決めてしまう前に、進路について深く考えてほしい。そう考えていると、きに出会ったのが『じぶん未来BOOK』です」。

この本では50人のさまざまな職業人が、自分の高校時代や仕事のやりがいを語っている。「これを読めば仕事の多様さや幅広さに気づき、仕事に就く意義ややりたいことを見つけるきっかけになると思いました」と重信先生。

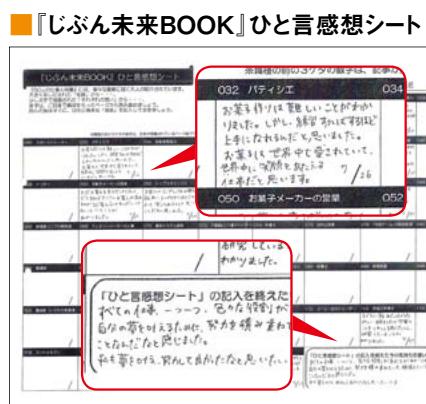
そこで昨年度、1年生の夏休み直前に、全員に「じぶん未来BOOK」を配布することになった。同じ時期に「じぶん未来BOOK」講演も実施。本に掲載されている弁護士などが登場するDVDを観賞した。

実は、6月の「保護者進路講話」でこのDVD観賞を行ったところ、事後アンケートで「子どもにもDVDを見

せてほしい」という声が圧倒的に多かったため、生徒も観賞することになったのだという。生徒も非常に興味をもつて、講演を聴いたりDVDを観賞していたという。

10人の職業人を選ぶから 生徒の興味関心が見えてくる

さらに、「じぶん未来BOOK」を読んで興味をもつた職業人を最低10人選び、付録の「ひと言感想シート」に感想を書く課題を夏休みに出した。「たくさんの職業に触れてほしい」という思いから、最初は50人全員について書かせようと考査ました。けれども量をこなすだけの作業にならうともよくなかったり、10人、もちろん50人でもOKということにしました。結果的にはそれがよかつた」と言うのは、昨年度1学年主任だった古館竜子先生。「進路についてまだつた」と言つたのは、昨年度1学年主任だった古館竜子先生。「進路についてまだよく考られない」という生徒がどんな10人を選ぶかで、興味や関心が見えてきます。また、幼稚園教諭や栄養士を目指す生徒も、10人以上ならほかの仕事にも目を向けるきっかけになります。これを個人面談の資料として活用する担任もいました」。



『じぶん未来BOOK』に登場する50人の中から、興味のある人を最低10人選んで短い感想を書く。中には50人全員について書いた生徒もいた。



中高貫コース担任
重信弘子先生(右)

「視野を広げて、いろいろな世界があることに気づいてほしいです」

2学年主任
古館竜子先生(左)

「やりがいのある職業を選んで、誇りをもって生きてほしいです」

スクールデータ

生徒数715人(女子のみ)
普通科22学級
進路状況(2013年度)／
大学進学26.8%、短大進学39.5%、
専各進学24.9%、
就職6.3%、その他2.4%

熊本県熊本市中央区九品寺2-6-78
電話：096-366-0295
<http://www.shokei-gakuen.ac.jp/jh-hs/>